

# 平成 2 9 年 度 事 業 報 告

自 平成 2 9 年 4 月 1 日

至 平成 3 0 年 3 月 3 1 日

公益財団法人 日本海事科学振興財団

# 目 次

第 1 一 般 概 況 .....	1
第 2 事 業 .....	2
I. 海洋に関する博物館事業	
1. 「船の科学館別館展示場」の公開 .....	2
2. 屋外展示資料の保存整備 .....	2
3. ボランティアの受け入れ .....	3
4. 博物館の機能整備 .....	3
5. 将来計画の策定 .....	4
II. 海洋に関する科学知識の普及啓発事業	
1. 海洋に関する科学知識の普及啓発活動 .....	4
2. 海の学びミュージアムサポート活動 .....	18
III. その他財団の目的達成に必要な事業	
1. 海洋及び船舶に関する研究 .....	25
2. 広報活動 .....	25
3. 諸施設の利用状況 .....	29
第 3 管 理 業 務 .....	30
1. 基本財産 .....	30
2. 役員・評議員 .....	30
3. 会議 .....	31
4. 平成 29 年度における助成金の交付及び精算 .....	32
5. 平成 30 年度助成金の交付申請 .....	33
6. 諸願・届出 .....	33
7. 登記 .....	33
8. 情報開示 .....	34
9. 外部監査 .....	34
10. 事務局 .....	34
11. 施設管理業務 .....	34
12. 日本財団パラリンピックサポートセンターへの協力 .....	34

## 第 1 一 般 概 況

公益財団法人日本海事科学振興財団(以下、「財団」という)は、海洋に関する科学知識について一般国民特に青少年に対しその普及を図り、もって海洋文化の発展に寄与することを目的に、日本財団よりボートレースの交付金による支援を得て、海洋に関する博物館事業及び海洋に関する科学知識の普及啓発事業を実施しているところである。

先般閣議決定された第3期海洋基本計画においては、第2期海洋基本計画に引き続き、海洋に関する教育の総合的な支援体制を整備する観点から、学校教育と水族館や博物館等の社会教育施設との連携を促進することが謳われている。これは、博物館や水族館をはじめとする多くの社会教育施設は学校教育が行う海洋教育のサポーターとしての機能を期待されていることを表しており、財団の活動の方向性を判然とさせるものである。

本年度の海洋に関する博物館事業としては、船の科学館別館展示場において、「にっぽんの海」や「海をまもる」等のブース展示を設け、船舶模型や所蔵資料の一部を公開するとともに、近年増加する訪日外国人向けに展示解説の多言語化を行った。また、戦後の昭和31年から37年に初代南極観測船として活躍した“宗谷”を公開するとともに、敷地内の大型スクリーンプロペラや灯台といった実物展示品により、歴史的遺産や本物に触れてこそ初めて味わえる感動を来館者に与えた。

もう一方の柱である海洋に関する科学知識の普及啓発事業については、財団設立以来、収集・作成してきた収蔵資料に関するデータをホームページ上で広く一般に公開するとともに、資料の貸し出しを積極的に行ったほか、インターネット等を介して感覚的に学び取る間接体験が多くなっている現在、子供たちが自然や本物に触れ、かかわり合う直接体験が重要となっていることから、子供たちが多く訪れる夏休み期間中には、「船の科学館別館展示場」の展示資料をハンズオンキットに模様替えするとともに、触れて動かすことのできる展示や工作実験教室を開催し、海に触れる機会が少ない子供たちに、楽しみながら海や船、海の生き物について興味・関心を持つ機会を提供した。また、学校及び社会教育機関等との連携により、当館ならではの海や船に関する学習プログラムを用いたアウトリーチ活動や受け入れ活動、視覚障がい者を対象に“宗谷”船内をツアー形式で巡り、本物の船に触れて、感じてもらう見学会などを実施することによって、より幅広い層に対し人々の生活と海洋とのつながりについて学んでもらうよう努めた。

さらに、「海の学びミュージアムサポート活動事業」として、全国の博物館・水族館・美術館等の社会教育施設が実施する企画展・特別展のほか、各種普及事業及び調査・研究等の海洋教育を意図した幅広い活動に対しサポートを行った。

今後においても、国内各地域における海洋に関する科学知識普及の拠点である博物館等社会教育施設との海洋教育ネットワークの拡充を図り、当館が海洋教育の中核的施設として広く認知されることを目指してまいります。

## 第 2 事 業

### I. 海洋に関する博物館事業

#### 1. 「船の科学館別館展示場」の公開

別館展示場では、国連海洋法条約に基づく日本の海とその海を守るための取り組みを紹介する「にっぽんの海」や、「海を守る」と題した展示コーナーを中心に展示エリアの一部テーマを見直すとともに、当館収蔵品を活用した展示資料の入れ替えと解説パネルをより海洋教育の実践に適した内容に更新した。また、当館学芸員による展示解説などを通じて海洋に関する様々な疑問に対し、わかりやすく回答するコーナーを設置するなど海洋に関する科学知識についての普及啓発を図った。さらに、近年増加する訪日外国人向けに展示解説の多言語化を行った。

入場者数	92,506名
公開日数	307日
当館の休館日に伴う未公開日数	58日

#### 2. 屋外展示資料の保存整備

初代南極観測船“宗谷”等の屋外展示資料を公開するため、展示資料を適切に保存し、来場者への良好な見学環境を提供するための保守管理を行った。

##### ①初代南極観測船“宗谷”の一般公開

乗船者数	58,921名
公開日数	307日
当館の休館日に伴う未公開日数	58日

##### ②初代南極観測船“宗谷”船舶検査

実 施 日：平成29年11月13日

調査機関：関東運輸局東京運輸支局

内 容：船舶安全法施行規則に基づく定期検査

##### ③初代南極観測船“宗谷”船舶検査に係る水中検査及び板厚測定

完 了 日：平成29年11月28日

調査機関：関東運輸局東京運輸支局

内 容：船舶安全法施行規則に基づく定期検査に係る水中検査及び板厚測定並びに  
報告書作成

### 3. ボランティアの受け入れ

「船の科学館別館展示場」及び初代南極観測船“宗谷”の展示案内及び当館の催事の実施等にあたりボランティアの受け入れを行った。

登録者数：110名

活動人員：延べ241名

活動期間：平成29年4月から平成30年3月

活動日数：94日

### 4. 博物館の機能整備

船の科学館の適切な運営を図るため、施設運用保守管理、昇降機保守点検、消防設備点検等を行った。

#### ①施設運用保守管理

委託業者：㈱セントラルアメニティサービス

契約期間：平成29年4月1日～平成30年3月31日

内 容：施設の運用に係る諸設備の保守管理

#### ②昇降機保守点検

委託業者：㈱日立ビルシステム

契約期間：平成29年4月1日～平成30年3月31日

内 容：エレベーターの保守点検業務

#### ③消防用設備保守点検

委託業者：(有)ミナミ

契約期間：平成29年4月1日～平成30年3月31日

内 容：消防用設備の保守点検業務

#### ④電話交換機保守点検

委託業者：㈱クリエイトコミュニケーションシステム

契約期間：平成29年4月1日～平成30年3月31日

内 容：電話交換機の保守点検業務

#### ⑤受変電設備点検（本館特高部）

委託業者：東京電設サービス㈱

実 施 日：平成29年12月25日

内 容：本館受変電設備(本館特高部)の点検業務

#### ⑥受変電設備点検（本館低圧部）

委託業者：㈱きんでん

実 施 日：平成29年12月25日

内 容：本館受変電設備(本館低圧部)の点検業務

## 5. 将来計画の策定

財団が立地する臨海部の東京ベイゾーンにおいては東京五輪・パラリンピックの競技会場が多数計画され、また、船の科学館に至近の水面に、平成31年の供用開始を予定する新客船埠頭ターミナル建設の準備工事が始まるなど、周辺地域の開発は著しく進捗することが予想されることから国家戦略特区や周辺地域の開発計画等の情報収集を行った。

## Ⅱ. 海洋に関する科学知識の普及啓発事業

### 1. 海洋に関する科学知識の普及啓発活動

広く一般に対して、海洋への興味・関心を喚起することを目的に、関連機関と連携しながら各種博物館活動を実施した。特に普段、海に触れる機会が少ない子どもたちを対象とした楽しく学習できる参加体験型催事を開催するとともに、学校及び社会教育機関等との連携によるアウトリーチや受け入れ活動を実践した。また、通常の常設展示や普及事業での対応が難しい視覚障がい者を対象としたガイドツアー等を実施した。

そのほか、船の科学館が開館以来収集・作成してきた資料や展示物等を現在実施している事業で活用するとともに、収蔵品データベースの公開を行った。

#### (1) 収蔵品データベースの公開

収蔵品データベースの一部を財団ホームページ内「収蔵資料検索システム」において広く公開した。

#### (2) 資料等の製作

①補助解説シート「わくわくマリン Kids～海の不思議に挑戦！～海の学びシート No. 4」の製作・配布を行った。

製作部数：3,000部

テーマ：知ってる？海のふか～いはなし

配布時期：平成29年7月～

配布場所：別館展示場及びホームページ（データ配布）

②南極観測船“宗谷”見学者配布用チラシの増刷

“宗谷”に対してより興味、関心をもってもらうことを目的に“宗谷”乗船入口で配布しているチラシを増刷した。

増刷枚数：60,000枚

発注先：ラクスル(株)

③南極観測船“宗谷”見学記念カードの改定・増刷

“宗谷”を見学した記念となるとともに、より興味、関心をもってもらうことを目的に“宗谷”乗船入口で配布している見学記念カードを増刷した。

増刷枚数：50,000枚

発注先：社会福祉法人 恩賜財団 東京都同胞援護会

④船の科学館資料ガイド3「南極観測船 宗谷」の改訂・増刷

“宗谷”の対岸移転に伴う写真の更新等を行い増刷した。

増刷枚数：3,000部

発注先：凸版印刷株式会社

⑤南極観測船“宗谷”生誕80周年記念ステッカーシールの製作

“宗谷”生誕80周年を記念して、乗船者への記念品として配布することを目的にステッカーシールを製作した。

製作枚数：500枚

発注先：社会福祉法人 恩賜財団 東京都同胞援護会

(3) 資料の受入

① 靱山道子氏

受入資料：靱山船舶模型製作所所蔵識別艦船模型 一式

② 小杉信夫氏

受入資料：南極観測船“宗谷”船名板 他3点

(4) 資料の貸出

① 横浜みなと博物館

貸出資料：海上安全絵馬“蛭子丸” 他3点

貸出期間：平成29年2月10日～4月20日

② 神戸大学大学院海事科学研究科海事博物館

貸出資料：船舶模型「原子力船“むつ”（縮尺1/100）」ガラスケース付

貸出期間：平成29年4月1日～平成30年3月31日

③ 公益財団法人三笠保存会

貸出資料：船舶模型「戦艦“三笠”」他1点

貸出期間：平成29年4月1日～平成30年3月31日

④ 三菱重工業㈱名古屋誘導推進システム製作所

貸出資料：二式大型飛行艇火星22型エンジン 2基

貸出期間：平成29年4月1日～平成30年3月31日

⑤ 科学技術館

貸出資料：六分儀

貸出期間：平成29年4月1日～平成30年3月31日

⑥ 横須賀市

貸出資料：船舶模型「戦艦“陸奥”（縮尺1/100）」アクリル展示ケース付

貸出期間：平成29年4月1日～平成30年3月31日

⑦石川県立歴史博物館

貸出資料：船舶模型「北前船」 他3点

貸出期間：平成29年4月1日～6月10日

⑧警視庁東京湾岸警察署

貸出資料：帆船模型“カティールサーク” 他2点

貸出期間：平成29年4月1日～平成30年3月31日

⑨青函連絡船史料研究会

貸出資料：青函連絡船毛布（「工」マーク入り）

貸出期間：平成29年5月23日～9月26日

⑩清水港博物館（フェルケール博物館）

貸出資料：ポスター「キュナード・ライン」 他240点

貸出期間：平成29年6月2日～8月25日

⑪公益財団法人福井原子力センター

貸出資料：巡回展アイテム「海のトイレット」 他4点

貸出期間：平成29年6月5日～6月13日

⑫玉川高島屋ショッピングセンター商店会

貸出資料：南極昭和基地の壁面パネル

貸出期間：平成29年7月20日～8月18日

⑬国土交通省関東運輸局海事振興部

貸出資料：船舶模型「カーフェリー“サンフラワー”（縮尺1/1250）」 他7点

貸出期間：平成29年8月4日～8月8日

⑭海上保安庁第三管区海上保安本部東京海上保安部警備救難課

貸出資料：第2種げん灯 他2点

貸出期間：平成29年8月15日～8月17日

⑮千葉県立関宿城博物館

貸出資料：船舶模型「弁才船」 他4点

貸出期間：平成29年9月27日～12月8日

⑯石狩市

貸出資料：旧石狩灯台灯器（アクリル製展示ケース含む）

貸出期間：平成29年9月27日～平成30年3月31日

（5）写真資料の貸出

出版会社等への写真資料の貸出を行った。 57件164点

（6）資料の借用

①東京国立博物館

借用資料：船舶模型“麒麟丸” 他13点

借用期間：平成29年4月1日～平成30年3月31日

②東京大学総合研究博物館

借用資料：船舶模型“小菅丸” 他2点

借用期間：平成29年4月1日～平成30年3月31日

③鉄道博物館

借用資料：船舶模型「弁才船（半割）」 他5点

借用期間：平成29年4月1日～平成30年3月31日

④(株)商船三井

借用資料：船舶模型“報国丸” 他2点

借用期間：平成29年4月1日～平成30年3月31日

⑤山高 登氏

借用資料：絵画「黄海海戦で奮戦する“赤城”油彩画」 他36点

借用期間：平成29年4月1日～平成30年3月31日

⑥大家宏之氏

借用資料：船舶模型 北前船“両徳丸”

借用期間：平成29年4月1日～平成30年3月31日

⑦神奈川県立生命の星・地球博物館

借用資料：魚類写真「コブダイ」 他22点

借用期間：平成29年5月3日～平成30年3月31日

⑧独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構

借用資料：マンガン団塊 他2点

借用期間：平成29年9月19日～平成30年3月31日

(7) 催事等の開催

①企画展「宗谷のあゆみ」

4月1日からの展示公開とともに南極観測から60年の記念すべき年に、初の南極観測船として活躍した“宗谷”の「あゆみ」を当時の貴重な写真と関係資料で振り返る企画展を開催した。

開催期間：平成29年4月1日～4月27日

開催場所：本館1階ロビー

入場者数：4,096名

②企画展示「江戸木造和船細工『船鑑』を中心に…Part.1～江戸木造和船細工師 中山幸雄の世界～」

江戸時代の川船などの識別図鑑である「船鑑」（当館所蔵）の実物を展示するとともに、人々の生活と舟運との関わりを精密な手作り和船模型（縮尺1/70）と和船の絵図や錦絵のパネル等で紹介した。

開催期間：平成29年4月29日～5月14日

開催場所：本館1階ロビー

入場者数：6,055名

#### ③セーリングカヌー乗船体験教室

プロセラー西村一広氏を代表とするチームニシムラプロジェクト及び東京海洋大学ヨット部OBの協力を得て、セーリングカヌーの乗船体験教室及びスキルアップ講習会を実施した。

開催期間：平成29年4月30日、5月28日 2回

開催場所：体験教室プール

参加者数：202名

#### ④展示解説会

海洋について興味・関心を持ってもらうことを目的に、別館展示場において当館学芸スタッフによる展示解説会を実施するとともに、解説会終了後に「質問コーナー」を設置して、子どもたちからの海洋に関する様々な疑問に対してわかりやすく回答した。

・開催日：平成29年5月3日

テーマ：『「日本の海」ってどんなところ？』

参加者数：17名

・開催日：平成29年5月4日

テーマ：「知ってる？船が無いと困ること」

参加者数：16名

・開催日：平成29年10月15日

テーマ：「知ってる？船が無いと困ること」

参加者数：9名

・開催日：平成29年11月19日

テーマ：『「日本の海」ってどんなところ？』

参加者数：6名

・開催日：平成30年2月18日

テーマ：「祝生誕80周年・南極観測船“宗谷”」

参加者数：9名

・開催日：平成30年3月24日

テーマ：「“宗谷”生誕80周年 きせきの船“宗谷”」

参加者数：22名

※参加者合計数：79名（全6回）

#### ⑤「海と船のおはなし会」

ボランティアの帆船愛好会「ソルティフレンズ」による当館が収蔵する海事図書資料を活用したファミリー向けの「絵本の読み聞かせ」を実施するとともに、当館学芸員による絵本に関連した事項を紹介、解説するギャラリートークを実施した。尚、8月実施分は、夏休みに開催した「海の学び舎わくわくキッズパーク」の特別プログラムとして実施した。

・開催日：平成29年5月5日

テーマ：「子猫のタケシ」

参加者数：35名

・開催日：平成29年6月4日

テーマ：「せいそうせんのくりんまる」

「しょうぼうていハーヴィー ニューヨークをまもる」

参加者数：18名

・開催日：平成29年8月15日（海の学び舎わくわくキッズパーク内）

テーマ：「ふなゆうれい」

参加者数：29名

・開催日：平成29年10月8日

テーマ：「赤い灯台」

参加者数：20名

・開催日：平成29年12月24日

テーマ：「イルカのジャック」

参加者数：12名

・開催日：平成30年2月25日

テーマ：「やまとゆきはら」

参加者数：37名

※参加者合計数：151名（全6回）

#### ⑥カヌー操船体験教室

カヌーの操船体験を通して、海と船への興味と関心を喚起するとともに、船舶の浮力や復元性などの特性を実体験の中から学んでもらう教室を開催した。

また、杉並海洋少年団による体験教室参加者へのライフジャケットの着用指導や操船方法指導補助、安全監視などを活動の一環として実施した。

開催期間：平成29年5月 2回

開催場所：体験教室プール

参加者数：79名

⑦視覚障がい者用宗谷見学プログラム「宗谷にタッチ！さわって学ぶガイドツアー」

通常の博物館展示だけでは対応が難しい視覚障がいのある方を対象に、船の大きさや質感、南極観測の意義や暮らしを支える船の重要な役割等について体感しながら知っていただくことを目的としたツアー形式の見学会を実施した。

- ・第1回 開催日：平成29年7月8日

参加者数：4組7名

- ・第2回 開催日：平成29年10月28日

参加者数：3組6名

- ・第3回 開催日：平成29年11月25日

参加者数：3組6名

※参加者数合計 10組19名（全3回）

⑧「海の学び舎・わくわくキッズパーク」

子どもたちが普段より海に触れる機会が増える夏休み期間中、表現力や想像力を養う展示や特別体験プログラムへの参加を通して、楽しみながら海や船、海の生き物について学んでもらうことを目的として開催した。

開催期間：平成29年7月14日～8月27日 39日間

開催場所：別館展示場

【展示】（期間中の別館展示場入場者数20,077名）

- ・東京港の生き物たち写真パネル
- ・海底資源資料「マンガン団塊」
- ・海のいきものぬりえコーナー/ペーパークラフト作りコーナー
- ・海のおさんぽコーナー
- ・親子をさがせ！

【特別プログラム】

ア．おサカナまるごとウォッチング

開催日：平成29年7月15日

参加者数：17名

イ．みずパワーで船を動かしてみよう！

開催日：平成29年7月16日

参加者数：48名

協力：公益財団法人日本船舶海洋工学会海洋教育推進委員会

ウ．海からの贈り物、メタンハイドレート

開催日：平成29年7月17日、8月27日

参加者数：114名（58名、56名）

協力：東京海洋大学音響資源探査研究室

エ．移動水族館

開催日：平成29年7月17日

参加者数：198名

協力：公益財団法人東京動物園協会葛西臨海水族園

オ．海にも地図があるよー船の安全な航路を描いてみようー

開催日：平成29年7月22日

参加者数：12名

協力：一般財団法人日本水路協会

カ．この食べ物はどこから来たの？

開催日：平成29年7月23日

参加者数：42名

協力：東京海洋大学海事普及会

キ．港を作るたねあかし

開催日：平成29年7月29日

参加者数：31名

協力：りんかい日産建設株式会社

ク．イカスミアートはいかが？

開催日：平成29年7月30日

参加者数：57名

協力：江東区環境学習情報館えこっくる江東

ケ．お天気の不思議

開催日：平成29年8月5日

参加者数：28名

協力：いであ株式会社

コ．塩の理科実験教室

開催日：平成29年8月6日

参加者数：38名

協力：公益財団法人塩事業センター

サ．海の水は、なぜ塩辛いのか？

開催日：平成29年8月11日

参加者数：45名

協力：国立研究開発法人海洋研究開発機構（JAMSTEC）

シ．めざせウミガメ博士！

開催日：平成29年8月12日

参加者数：49名

協力：東京海洋大学うみがめ研究会

ス．海図の記号から、海の中をしらべてみよう

開催日：平成29年8月13日

参加者数：25名

協力：一般財団法人日本水路協会

セ．海と船のおはなし会

絵本の読み聞かせ「ふなゆうれい」

ギャラリートーク「海から来た言葉と文化」

開催日：平成29年8月15日

参加者数：29名

ソ．煮干の解剖

開催日：平成29年8月19日

参加者数：40名

協力：東京海洋大学海洋政策文化学科教育学研究室

タ．ポンポン船を作ろう！～船を動かす蒸気の力～

開催日：平成29年8月20日

参加者数：35名

チ．フェルトで作ろう！海の生き物

開催日：平成29年8月20日

参加者数：15名

ツ．コンブ博士になろう

開催日：平成29年8月26日

参加者数：22名

協力：東京海洋大学海洋政策文化学科教育学研究室

※参加者数合計 845名（18プログラム全19回）

⑨企画展示「江戸木造和船細工『船鑑』を中心に・・・Part.2～江戸木造和船細工師 中山幸雄の世界～」

江戸時代の川船などの識別図鑑である「船鑑」（当館所蔵）の実物を展示するとともに、江戸時代関東一円で使われた高瀬船やひらた船など、主に荷船として使われた和船模型（縮尺1/70）と和船の絵図や錦絵のパネル等で紹介した。

開催期間：平成29年9月30日～10月15日 14日間

開催場所：本館1階ロビー

入場者数：2,516名

(8) 共催・後援・協力事業

「海」、「船」、「環境」などをテーマとした各種事業に共催・後援・協力を行い、海洋に関する科学知識の普及、啓発に努めた。

①第10回青函連絡船講演会

開催日：平成29年4月22日

開催場所：本館1階ロビー

主催：青函連絡船史料研究会

参加者数：70名

②「2017 Ready, Set, Wear It!」への協力

開催日：平成29年5月20日

主催：公益財団法人 マリンスポーツ財団

③東京湾環境一斉調査

開催日：平成29年8月2日

開催場所：“宗谷”近辺

開催内容：水質観測

主催：東京湾再生推進会議モニタリング分科会等

④「第54回関東地区中学生海の絵画コンクール」への後援及び協力

・後援名義使用

・特別賞受賞者へ「船の科学館賞」贈呈

主催：公益社団法人関東海事広報協会

⑤「沖ノ鳥島資料展示」への協力

開催日：平成29年10月27日～11月7日

開催場所：本館1階ロビー

主催：東京都産業労働局農林水産部

見学者数：2,142名

⑥うみすばる親子セーリング体験教室

開催日：平成29年11月5日、12日

開催場所：お台場海浜公園

主催：うみすばる親子セイリング体験教室実行委員会

参加者数：28名

⑦第11回青函連絡船講演会

開催日：平成29年11月18日

開催場所：本館1階ロビー

主催：青函連絡船史料研究会

参加者数：80名

⑧「第18回未来に残そう青い海・海上保安庁図画コンクール」への協力

- ・協力名義使用
- ・特別賞受賞者へ「船の科学館賞」贈呈

開催日：平成30年1月24日～2月4日

開催場所：本館1階ロビー

主催：公益社団法人関東海事広報協会

⑨第12回青函連絡船講演会

開催日：平成30年3月17日

開催場所：本館1階ロビー

主催：青函連絡船史料研究会

参加者数：98名

(9) 博物館活動への参加

①みなとの博物館ネットワークフォーラム平成29年度通常総会

開催日：平成29年5月25日～26日

場所：神戸海洋博物館

②平成29年度日本フローティングシップ協会総会

開催日：平成29年6月7日

場所：船の科学館

③東京都博物館協議会及び日本博物館協会東京支部 理事会・総会、見学研修会

開催日：平成29年6月28日

場所：理事会・総会 日本科学未来館  
見学研修会 宗谷、日本科学未来館

④日本博物館協会全国支部長会議

開催日：平成29年7月11日

場所：東京国立博物館

⑤全国科学博物館協議会総会

開催日：平成29年7月13日

場所：国立科学博物館

⑥慶長使節船ミュージアムの今後のあり方検討委員会

開催日：平成29年8月29日

場所：慶長使節船ミュージアム

⑦慶長使節船ミュージアムの今後のあり方検討委員会

開催日：平成29年10月24日

場所：慶長使節船ミュージアム

⑧よこすか歴史・産業遺産ミュージアム（仮）構想の策定に向けた意見交換会

開催日：平成29年12月19日

場所：横須賀商工会議所

⑨慶長使節船ミュージアムの今後のあり方検討委員会

開催日：平成29年12月26日

場所：慶長使節船ミュージアム

⑩慶長使節船ミュージアム企画運営委員会

開催日：平成30年1月25日

場所：慶長使節船ミュージアム

⑪東京都博物館協議会及び日本博物館協会東京支部 理事会・総会、見学研修会

開催日：平成30年2月22日

場所：理事会・総会 東京海洋大学

見学研修会 東京海洋大学 マリンサイエンスミュージアム

⑫慶長使節船ミュージアムの今後のあり方検討委員会

開催日：平成30年3月22日

場所：宮城県行政庁舎

(10) 学校団体等訪問学習の受け入れ

校外学習等で来館する学校団体を対象に、当館学芸員が見学案内や質疑応答を通じて、「自ら考え、調べ、まとめる力」を養うとともに、海や船についてより深く学んでもらうことを目的に実施した。

①平成29年 4月20日 東北地方・中学生 修学旅行 4名

②平成29年11月 1日 東北地方・中学生 修学旅行 5名

③平成29年11月 8日 東北地方・中学生 修学旅行 5名

④平成29年12月13日 北陸地方・中学生 修学旅行 5名

※参加者数合計 19名（全4回）

(11) 学校及び社会教育機関等との連携による博物館活動（アウトリーチ、受け入れ）

学校及び社会教育機関等との連携により、当館ならではの海や船に関する学習プログラムを用いたアウトリーチ活動や受け入れ活動を行い、通常当館に来館する機会の少ない客層を対象に私たちの生活と海洋とのつながりについて学んでもらうことを目的に実施した。

①山梨県立盲学校

事前学習用の資料貸出

貸出資料：さわれる船舶模型 2点

貸出期間：平成29年5月16日～26日

#### 体験学習の受け入れ

受 入 日：平成29年6月7日

受入人数：5名

実施内容：

- ・陸上でのカヌー乗船体験

船の質感や乗り心地、漕ぎ方などを疑似体験

- ・視覚障がい者用宗谷見学プログラム

「宗谷にタッチ！さわって学ぶガイドツアー」

絵本「やまとゆきはら」の読み聞かせ

宗谷の模型にタッチ（船の構造や特徴）

南極の氷にタッチ、氷がとけて気泡がはじける音の確認

生活に必要な食料やエネルギーのほとんどを運ぶ「船舶や海運」の重要性について解説

#### ②東海大学附属浦安高等学校・中等部（サイエンスクラス）

アウトリーチ（出前授業）

実 施 日：平成29年5月26日

場 所：東海大学附属浦安高等学校・中等部

実施内容：船舶や海運に関する総合的な学習

参加者数：32名

#### 体験学習の受け入れ

受 入 日：平成29年5月27日

受入人数：37名

実施内容：

- ・本館展望塔での「港湾施設の講義」
- ・体験教室プールでのカヌー体験教室

#### ③国立大学法人東京海洋大学（留学生）

#### 体験学習の受け入れ

受 入 日：平成29年6月10日

受入人数：13名

実施内容：

- ・別館展示場の見学案内
- ・南極観測船“宗谷”の見学案内

#### ④江東区環境学習情報館 えこっくる江東

アウトリーチ（出前授業）

実 施 日：平成29年8月3日

場 所：江東区環境学習情報館 えこっくる江東

参加者数：３８名

実施内容：親子で学ぼう！おサカナまるごとウォッチング

- ・サカナをくみたてよう
- ・サカナの体の中を見てみよう
- ・サカナのおなかの中をみてみよう
- ・サカナのおなかから見る海の様子

#### ⑤江東区中川船番所資料館

アウトリーチ（出前授業）

実 施 日：平成２９年８月２０日

場 所：江東区中川船番所資料館

参加者数：４０名

実施内容：夏休み自由研究「旧中川のプランクトンを観察しよう！」

- ・プランクトンってなんだろう
- ・プランクトンをつかまえよう
- ・プランクトンを見てみよう
- ・プランクトンと私たちのつながり

#### ⑥お台場学園（港陽中学校）

アウトリーチ（出前授業）

実 施 日：平成２９年９月１２日

場 所：港陽中学校 第二理科室

参加者数：９２名

実施内容：煮干しを使った環境学習「煮干しから見る海の様子」

- ・サカナをくみたてよう
- ・サカナの体の中を見てみよう
- ・サカナのおなかの中をみてみよう
- ・サカナのおなかから見る海の様子

授業の受け入れ

受 入 日：平成２９年９月１２日

受入人数：９２名

実施内容：

- ・本館展望塔での「海運の重要性と船舶を取り巻く環境問題の講義」
- ・南極観測船“宗谷”での船内見学及び南極の氷を使った環境学習

⑦日本科学未来館『南極観測60周年！「宗谷」から「しらせ」まで～未来館発着、南極旅行！～』体験学習の受け入れ

受 入 日：平成29年12月16日

受入人数：75名

受入内容：南極観測船“宗谷”の見学案内、南極の氷を使った体験活動

- ・南極のお話と南極の氷体験
- ・宗谷船内の見学ツアー
- ・南極観測の役割りについての話

⑧江東区環境学習情報館 えこっくる江東

アウトリーチ（出前授業）

実 施 日：平成30年3月11日

場 所：江東区環境学習情報館 えこっくる江東

参加者数：38名

実施内容：親子で学ぼう！おサカナまるごとウォッチング

- ・サカナをくみたてよう
- ・サカナの体の中を見てみよう
- ・サカナのおなかの中をみてみよう
- ・サカナのおなかから見る海の様子

## 2. 海の学びミュージアムサポート活動

海洋に関する国民の理解増進を図るため、全国の博物館・水族館・美術館等の社会教育施設で開催する「海の企画展」（海洋教育を意図した企画展・特別展）、「海の博物館活動」（海洋教育を意図した各種普及事業）及び「海の学び調査・研究」（海洋教育の実践を意図した事前活動）への支援を中心としたサポートを行った。

### ●事務局関係

#### （1）現地調査

各プログラム等の事前説明及び実施状況の確認とともに、今後における海洋教育の実践に関する情報交換を行った。また、あわせて事務手続きと関係書類の確認を実施した。

#### （2）ポスターの製作及び送付

「海の企画展」開催館の案内ポスターを制作し、全国の博物館等へ送付した。

#### （3）事業案内チラシ製作及び送付

事業の展開に際し、その事業内容の周知を図る案内チラシを製作し、全国の博物館等へ送付した。

#### (4) WEBサイトの運用

事業内容周知及び事業成果公開を目的とした「海の学びミュージアムサポート」WEBサイトを運用し情報発信を行った。

#### ●サポートプログラム関係

##### (1) プログラム1「海の企画展サポート」

###### ①常設展示リニューアル記念特別展 「冷たい海の大冒険!!!～関勝則が写す北の海の生き物～」

主 催：釧路市立博物館

開催時期：平成29年9月2日～平成30年6月30日（予定）

場 所：釧路市立博物館

入場者数：64,373名（3月31日現在）

###### ②企画展「もし海がなかったら～海の役割と極域の生物から海の環境を探ろう～」

主 催：蘭越町

開催時期：平成29年6月3日～10月31日

場 所：蘭越町貝の館

入場者数：3,078名

###### ③特別展「柳原良平の海・船・港」

主 催：苫小牧市美術博物館

開催時期：平成29年9月9日～11月12日

場 所：苫小牧市美術博物館

入場者数：4,080名

###### ④平成29年度企画展「鰯は弱いが役に立つ～肥料の王様 干鰯～」

主 催：千葉県立関宿城博物館

開催時期：平成29年10月3日～12月3日

場 所：千葉県立関宿城博物館

入場者数：13,020名

###### ⑤企画展「江戸へ魚を送れ！-漁場としての横浜周辺の海」

主 催：公益財団法人帆船日本丸記念財団

開催時期：平成29年10月7日～11月26日

場 所：横浜みなと博物館

入場者数：6,005名

###### ⑥企画展「北前船と日本海海運」

主 催：石川県立歴史博物館

開催時期：平成29年4月22日～5月28日

場 所：石川県立歴史博物館

入場者数：23,969名

⑦特別展「“釣（ちょう）”水族館」

主 催：東海大学海洋科学博物館

開催時期：平成29年7月8日～10月29日

場 所：東海大学海洋科学博物館

入場者数：67,245名

⑧特別展「骨まで愛して♥海の生きもの～まるごと使う、まるごと学ぶ～」

主 催：公益財団法人東海水産科学協会

開催時期：第1会場 平成29年7月15日～10月16日

第2会場 平成29年7月15日～11月26日

場 所：海の博物館

入場者数：14,435名

⑨イセエビ漁のにぎわい～海と人がつながる漁村の活気～

主 催：三重県総合博物館

開催時期：展示① 平成29年9月30日～12月3日

展示② 平成30年1月4日～2月16日

場 所：三重県総合博物館、志摩市志摩町

入場者数：17,312名

⑩特別展「瀬戸内海の自然を楽しむ」

主 催：公益財団法人大阪市博物館協会

開催時期：平成29年7月15日～10月15日

場 所：大阪市立自然史博物館

入場者数：20,297名

⑪秋期特別展「海に生きた人びとー漁撈・塩づくり・交流の考古学ー」

主 催：大阪府立弥生文化博物館

開催時期：平成29年10月7日～12月3日

場 所：大阪府立弥生文化博物館

入場者数：7,260名

⑫柳原良平 アンクル船長の夢

主 催：公益財団法人尼崎市総合文化センター

開催時期：平成29年5月20日～7月9日

場 所：尼崎市総合文化センター

入場者数：4,306名

⑬企画展「ザ・モンスター ～海と陸のへんてこ生物たち～」

主 催：徳島県立博物館

開催時期：平成29年7月22日～9月10日

場 所：徳島県立博物館

入場者数：25,986名

⑭文化交流展特別展示「水の中からよみがえる歴史ー水中考古学最前線ー」

主 催：独立行政法人国立文化財機構九州国立博物館

開催時期：平成29年7月15日～9月10日

場 所：九州国立博物館

入場者数：85,000名

⑮西郷隆盛と海洋国家薩摩ー明治維新へ指宿が果たした役割ー

主 催：指宿市考古博物館 時遊館COCOはしむれ

開催時期：平成29年10月14日～平成30年3月31日

場 所：指宿市考古博物館 時遊館COCOはしむれ

入場者数：11,328名

⑯沖縄県立博物館・美術館10周年特別展「海の沖縄」

主 催：沖縄県立博物館・美術館

開催時期：平成29年11月1日～平成30年1月14日

場 所：沖縄県立博物館・美術館

入場者数：9,826名

※海の企画展サポート合計入場者数 377,520名

(2) プログラム2「海の博物館活動サポート」

①春のぽかぽか美術館

主 催：公益財団法人長崎ミュージアム振興財団

実施時期：平成29年4月22日～5月7日

場 所：長崎県美術館

参加者数：3,744名

②シーラカンスから海を学ぶ

主 催：北九州市立自然史・歴史博物館

実施時期：平成29年6月1日～平成30年3月31日

場 所：北九州市立自然史・歴史博物館、ふくしま海洋科学館、他

参加者数：449,401名

③移動水族館

主 催：青森県営浅虫水族館

実施時期：平成29年8月1日～11月30日

場 所：青森県立聾学校、田子町立上郷小学校、他

参加者数：170名

④「海洋教育」体感型アウトリーチ教材（トランクキット）運用と新規開発

主 催：群馬県立自然史博物館

実施時期：平成29年6月1日～平成30年1月21日

場 所：群馬県立自然史博物館、群馬県立高崎高等特別支援学校、他

参加者数：3,851名

⑤豊かな海、素敵な海にするために私たちにできること

主 催：貝塚市立自然遊学館

実施時期：平成29年5月27日～平成30年2月28日

場 所：大阪湾沿岸、貝塚市、他

参加者数：649名

⑥輝津館「海洋教育」事業

主 催：南さつま市坊津歴史資料センター輝津館

実施時期：平成29年7月5日～平成30年1月31日

場 所：南さつま市坊津歴史資料センター輝津館、歴史交流館金峰、他

参加者数：117名

⑦「海の学び」をふかめるまちづくり

主 催：真鶴町

実施時期：平成29年7月26日～平成30年3月31日

場 所：真鶴町立遠藤貝類博物館

参加者数：2,217名

⑧「海を考えるカルチャー週間」実行委員会

主 催：笠沙恵比寿博物館

実施時期：平成29年10月14日～11月5日

場 所：笠沙恵比寿博物館、野間池近海

参加者数：238名

⑨むつ湾シーサイドスクールプロジェクト2017

主 催：特定非営利活動法人あおもりみなとクラブ

実施時期：平成29年7月31日～平成30年4月21日（予定）

場 所：青函連絡船メモリアルシップ八甲田丸、浅虫水族館、他

参加者数：2,708名（3月31日現在）

⑩とっても楽しい大阪の海～遊ぶ大阪湾を丸ごと学んじゃおう～

主 催：大阪湾見守りネット

実施時期：平成29年8月29日～平成30年6月30日（予定）

場 所：せんなん里海公園、西鳥取漁港、他

成 果：大阪府下小学校 990 校、大阪府下中学校 470 校への活動紹介 DVD 配布（予定）

⑪東海大学海洋科学博物館における、障害者アートを活用した障がい者サポートプログラム

主 催：cocore

実施時期：平成 29 年 11 月 26 日～平成 30 年 4 月 8 日（予定）

場 所：東海大学海洋科学博物館

参加者数：12,978 名（3 月 31 日現在）

⑫国際ジュゴンシンポジウムとジュゴンと海を知るワークショップと講演会 2018

主 催：国際ジュゴンシンポジウム実行委員会

実施時期：平成 30 年 2 月 22 日～3 月 31 日

場 所：鳥羽水族館、鳥羽国際ホテル

参加者数：238 名

※海の博物館活動サポート合計参加者数 476,311 名

（3）プログラム 3「海の学び調査・研究サポート」

①尾張の歴史・文化的地域性と伊勢湾との関わりに関する考古学・民俗学的研究

実 施 者：名古屋市博物館

実施時期：平成 29 年 6 月 1 日～平成 30 年 2 月 28 日

②「ヤドカリから見る大阪湾～大阪湾南東部に生息するヤドカリ類相と大阪湾の環境についての研究～」

実 施 者：きしわだ自然資料館

実施時期：平成 29 年 7 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日

③日本海の循環システムを利用した環境変動に対する生物の応答に関する基礎研究および学校向け教育プログラム開発に向けた準備

実 施 者：蘭越町（蘭越町貝の館）

実施時期：平成 29 年 10 月 6 日～平成 30 年 5 月 31 日（予定）

④開国をテーマとする「海の学び」学習支援プログラムの開発に関する基礎的研究

実 施 者：神奈川県立歴史博物館

実施時期：平成 29 年 10 月 6 日～平成 30 年 6 月 30 日（予定）

⑤長崎・熊本両県における自然災害（地震・噴火・津波）に関する総合調査一寛政 4 年「島原大変肥後迷惑」の文献・慰霊碑を中心に一

実 施 者：熊本大学日本史研究室資料保全継承会議・安高啓明研究室

実施時期：平成 29 年 11 月 1 日～平成 30 年 5 月 31 日（予定）

## ●情報・ノウハウのサポート

### (1) 青森県“陸奥湾”をフィールドに活動する博物館との情報交換会の開催

実施時期：平成29年5月30日

場 所：プラザホテルむつ

参加者：①青森県営浅虫水族館

②むつ市海と森ふれあい体験館

③青函連絡船メモリアルシップ八甲田丸

④船の科学館

実施内容：青森県“陸奥湾”をフィールドに活動する博物館同士の活発な活動や連携体制の構築を促すことを目的とした情報交換の開催サポートを行った。

### (2) 2017年夏休みキッズイベント「ポンポン船をつくろう！」

実施時期：平成29年6月23日、7月23日、29日

場 所：日本郵船歴史博物館

参加者数：71名

実施内容：次世代を担う子どもたちに海運や船舶への理解と関心を深めてもらうことを目的に、日本郵船歴史博物館ならではの海洋教育プログラム開発とイベント実施のサポートを行った。

### (3) 大浦天主堂キリシタン博物館に対する情報・ノウハウのサポート

実施内容：新規開設予定の「大浦天主堂キリシタン博物館」にて常設展示予定の船舶模型「サン・フェリペ」制作にあたり、船舶考証や模型制作に関する専門家の紹介や情報提供、打合せ・制作場所の協力サポートを行った。

## ●その他の活動

### (1) 「サイエンスアゴラ2017」への海の学びミュージアムサポート事業紹介ブース出展

実施時期：平成29年11月26日

場 所：テレコムセンタービル

参加者数：約500名

実施内容：海の学びミュージアムサポート事業の過去支援館である群馬県立自然史博物館との連携により、群馬県立自然史博物館が製作した成果物（「海洋教育」体験型アウトリーチ補助教材）を展示紹介し、サポート事業の事業内容や実施成果を広く一般および博物館関係者向けに紹介した。

### (2) 鉏路市立博物館主催巡回展への開催協力

実施時期：平成30年2月17日～3月25日

場 所：船の科学館 本館 1 階ロビー

参加者数：約 7, 4 9 3 名

実施内容：平成 2 9 年度「海の企画展サポート」対象事業の巡回展における東京会場として開催協力するとともに、地域を代表する博物館の新たな役割として、地域振興につながることを共同で企画し、観光関連機関との連携をサポートした。

### Ⅲ. その他財団の目的達成に必要な事業

#### 1. 海洋及び船舶に関する研究

博物館の展示や教育普及は、調査研究と常に表裏一体であることから、当館が展示や教育普及の対象としているわが国の海と船の文化について、研究者と連携を図り調査・研究を継続している。本年度は平成 2 8 年度に実施した、“宗谷”改造図面等の電子データ化に伴う船の科学館収蔵資料目録 6 <宗谷>Ver. 2. 0（改訂版）に続き、南極観測を中心とした“宗谷”8 0 年の歴史を記録する写真約 2, 6 0 0 点をデジタル化するとともに整理し、船の科学館収蔵資料目録 7 <“宗谷”写真>を制作した。

#### 2. 広報活動

社会教育施設からの海洋教育の情報発信を充実させるため、当館「公式ホームページ」を活用し、当館で開催する体験学習等のイベント案内及び活動報告や海洋関連の情報をタイムリーに更新するとともに、SNS（ツイッター、フェイスブック）を活用した情報発信をすることで、当館における海洋教育の実践内容を広く公開した。また、船の科学館別館展示場及び初代南極観測船“宗谷”等の来場者の誘致を図るため、「海」「船」「環境」等をテーマとした行催事への共催・後援・協力を行うとともに、地元の教育機関、自治会、マスコミ等に広報活動を展開したほか、交通媒体の利用やテレビ、新聞・雑誌等の取材協力を行った。

##### （1）有料広告

###### ①新聞、雑誌等による名刺広告

1. 「海上の友」海の日特別号 （公財）日本海事広報協会
2. 「日本海事新聞」海の日記念特集号 （株）日本海事新聞社
3. 「海上の友」新年特別号 （公財）日本海事広報協会
4. 「日本海事新聞」2018 年新年特集号 （株）日本海事新聞社
5. 「東京港」新年号 （一社）東京都港湾振興協会

## ②看板の掲出による広告

### 1. 駅電飾看板

掲出駅 「ゆりかもめ」 船の科学館駅

### 2. 道路誘導看板

掲出場所 港区(お台場地区国道) 2基

## (2) パブリシティ活動による無料広報実績

### ①テレビ等による広報

#### 1. TOKYO MX「TOKYO MX NEWS」

平成29年4月11日放送 “宗谷” 紹介生中継

#### 2. フジテレビジョン「新しい波24」

平成29年4月24日放送 船の科学館紹介

#### 3. ケーブルテレビ品川「わ！しながわニュース」

平成29年5月20日～23日放送 “宗谷” 紹介

#### 4. テレビ朝日「じゅん散歩」

平成29年6月12日放送 “宗谷” 紹介

#### 5. NHK「おはよう日本」

平成29年7月22日放送 “宗谷” 紹介生中継

#### 6. 日本テレビ「ZIP!」

平成29年8月4日放送 船の科学館紹介

#### 7. 東京MX「ひるキュン!」

平成29年8月8日放送 船の科学館紹介

#### 8. ケーブルテレビ品川「しながわEYE」

平成29年8月12日放送 海の学び舎わくわくキッズパーク紹介

#### 9. NHK「お好みワイド広島」

平成29年11月30日放送 “宗谷” 紹介

#### 10. 文化放送「くにまるジャパン極」

平成30年2月23日放送 “宗谷” 紹介

#### 11. NHK「首都圏ネットワーク」

平成30年3月13日放送 「第12回青函連絡船講演会」 紹介

### ②新聞による広報

#### 1. 産経新聞

平成29年4月1日 陸奥主砲紹介

#### 2. 読売新聞夕刊

平成29年4月18日 “宗谷” 紹介

### 3. 広報しながわ

平成29年5月号 船の科学館紹介

### 4. 「りんかいB r e e z e」 りんかいB r e e z e編集室

平成29年4月14日148号 企画展「“宗谷”のあゆみ」紹介

平成29年7月14日151号 海の学び舎わくわくキッズパーク紹介

### 5. 「ASACOM」 ASA江東ブロック

平成29年4月16日154号 企画展「“宗谷”のあゆみ」紹介

### 6. 「広報しながわ」 品川区

平成29年5月1日号 船の科学館紹介

### ③雑誌、WEB等による広報

#### 1. 「TOKYO SEASIDE STORY」 産経新聞社

平成29年4月号 “宗谷”紹介

平成29年8月号 海の学び舎わくわくキッズパーク紹介

#### 2. 「H A I J I I」 ソニー健康保険組合

平成29年4月号 船の科学館紹介

#### 3. 「世界の艦船」

平成29年5月号 企画展「“宗谷”のあゆみ」紹介

#### 4. 「モデルアート」

平成29年5月号 企画展「“宗谷”のあゆみ」紹介

#### 5. 季刊誌「東京港」

2017春号 企画展「“宗谷”のあゆみ」紹介

#### 6. 「WalkerPlus」 KADOKAWA 運営

船の科学館紹介

#### 7. 「まち歩き地図 東京2018」 (株)朝日新聞出版発行

船の科学館紹介

#### 8. 「おすすめコース東京+横浜」 (株)教材研究所発行

船の科学館紹介

#### 9. 「親子でぶらりー学べるスポット150」 (株)山川出版社発行

船の科学館紹介

#### 10. 「D-Room」 大和リビング(株)

船の科学館紹介

#### 11. 「都バスイベントポスター」 一般財団法人東京都交通協力会発行

平成29年7～9月 海の学び舎わくわくキッズパーク紹介

平成29年10～11月 企画展示紹介

12. 「東京23区！街ラボくねっと」 花島産業（株）運営  
船の科学館紹介
13. 「Walking Around World」 合同会社 PHOENIX FM 運営  
平成29年9月10日放送 船の科学館紹介
14. 「東京散策乗物ガイド」 （株）教材研究所発行  
船の科学館紹介
15. 「東京ウォーターフロントシティガイドマップ」  
一般社団法人東京臨海副都心まちづくり協議会発行  
船の科学館紹介
16. 「まっふる東京ベストスポット」「まっふる東京ベストスポット mini」  
（株）昭文社 平成29年9月8日発行 船の科学館紹介
17. 「モーターショーガイドブック 2017」 日刊自動車新聞  
平成29年10月27日発行 船の科学館紹介
18. 「ROAD HINTS」 （株）kazenawa  
HONDAカーナビアプリ 船の科学館紹介
19. 「広報マスコミハンドブックPR手帳2018年度版」  
公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会  
平成29年12月発行 船の科学館紹介
20. 「楽楽東京」 （株）四谷工房  
船の科学館紹介
21. 「潜入！ものづくりワールド首都圏」 （株）JTB パブリッシング  
平成29年12月上旬 船の科学館紹介
22. 「海事FAX短信」 日本海事広報協会  
平成29年12月15日 海と船のおはなし会紹介
23. 「学研キッズネット」 （株）学研プラス運営  
船の科学館紹介
24. 「のりもの博物館」 一般財団法人運輸振興協会  
船の科学館紹介
25. 「まっふる 家族でおでかけ関東周辺 18-19」 （株）昭文社  
平成30年1月18日発行 船の科学館紹介
26. 「工場見学へ行こう 首都圏版」 （株）JTB パブリッシング  
船の科学館紹介
27. 「るるぶとこどもとあそび！首都圏'19」 （株）JTB パブリッシング  
平成30年2月上旬発行 船の科学館紹介

28. 「Y A H O O ! ニュース」  
平成30年2月16日 “宗谷” 紹介
29. 「毎日新聞WEB」  
平成30年2月16日 “宗谷” 紹介
30. 「365日東京ガイド」 (株) trippiece RETRIP 編集部  
平成30年3月末発行 船の科学館紹介
31. 「歩く地図 東京散歩 2019」 成美堂出版(株)  
平成30年2月20日発行 船の科学館紹介
32. 「ナビタイム」「Japan Official Travel App」  
(株) ナビタイムジャパン 船の科学館紹介
33. 「街なか観光案内」  
(株) JTBコミュニケーションデザイン 東京都観光ボランティア事務局  
平成30年3月1日発行 船の科学館紹介
34. 「シェラトン・グランデ・トーキョーベイ・ホテルHP」  
船の科学館紹介
35. 「りんかい線で行く お台場体験隊 2018 ～修学旅行・体験学習のご案内～」  
りんかい線運営 船の科学館紹介

### 3. 諸施設の利用状況

来館者用駐車場の運営のほか、船の科学館別館展示場等で当財団発行資料の販売等を行った。

なお、本年度の船の科学館利用者は、以下のとおりとなった。

(1) 「船の科学館別館展示場」入場者数	92,506名
(2) 「初代南極観測船“宗谷”」乗船者数	58,921名
(3) 「カヌー操船体験教室」等催事参加者数	14,013名
(4) その他共催・協力等の催事参加者数	10,382名
合 計 (のべ人数)	175,822名

(「別館展示場」及び“宗谷”月別利用実績については別紙4のとおり。)

## 第 3 管 理 業 務

### 1. 基 本 財 産

平成 30 年 3 月 31 日現在における基本財産は以下のとおりとなった。

なお、前年度からの増減については、有価証券期末時価評価による減(15,531,652 円)によるものである。

(単位：円)			
内 訳	前年度末	増減額	当年度末
(1) 預 金			
普 通 預 金	2,384,370	—	2,384,370
定 期 預 金	236,749	—	236,749
預 金 計	2,621,119	—	2,621,119
(2) 有 価 証 券			
国 債	1,500,167,861	△ 6,607,368	1,493,560,493
地 方 債	623,228,831	△ 8,924,284	614,304,547
有 価 証 券 計	2,123,396,692	△ 15,531,652	2,107,865,040
(3) 土 地			
船 の 科 学 館 敷 地	6,926,223,802	—	6,926,223,802
合 計	9,052,241,613	△ 15,531,652	9,036,709,961

### 2. 役 員 ・ 評 議 員

この年度における役員及び評議員の異動状況は、次のとおりである。

#### (1) 役 員

##### ① 役員の選任

現役員(理事及び監事)の任期満了に伴い、平成 29 年 6 月 23 日開催の第 47 回評議員会において、理事 4 名(再任 3 名、新任 1 名)及び監事 2 名(再任 1 名、新任 1 名)が選任された。

##### ② 理事長及び常務理事の選定

平成 29 年 6 月 30 日開催の第 147 回理事会において理事長及び常務理事の選定を行った結果、理事長の選定については、候補者が推薦される状況になり次第、選定することとし、常務理事に鈴木浩司理事が選定された。

(平成 30 年 3 月 31 日現在の役員は別紙 1 のとおり。)

#### (2) 評 議 員

##### ① 評議員の選任

現評議員 7 名のうち 6 名の任期満了に伴い、平成 29 年 6 月 23 日開催の第 47 回評議員会において、評議員 6 名が選任(全員再任)された。

(平成 30 年 3 月 31 日現在の評議員は別紙 2 のとおり。)

### 3. 会議

この年度における理事会及び評議員会の開催状況は、次のとおりである。

#### (1) 理 事 会

##### ①第145回理事会

ア. 日 時 平成29年6月2日 11時00分～12時05分

イ. 場 所 船の科学館 会議室

ウ. 報告事項

日本財団パラリンピックサポートセンターへの協力について

エ. 審議事項

第1号議案 平成28年度事業報告及び決算の承認に関する件

第2号議案 第47回評議員会の開催に関する件

##### ②第146回理事会

ア. 日 時 平成29年6月30日 14時00分～14時15分

イ. 場 所 船の科学館 会議室

ウ. 報告事項

第47回評議員会の開催状況について

エ. 審議事項

第1号議案 「理事長及び常務理事の選定」に関する件

##### ③第147回理事会

ア. 日 時 平成29年10月26日 14時00分～14時40分

イ. 場 所 船の科学館 会議室

ウ. 報告事項

①平成29年度上半期（4月～9月）の実施事業について

②日本財団パラリンピックサポートセンターへの協力について

エ. 審議事項

第1号議案 「日本財団に対する平成30年度助成金の交付申請」の議決に関する件

##### ④第148回理事会

ア. 日 時 平成30年3月9日 14時00分～14時40分

イ. 場 所 船の科学館 会議室

ウ. 報告事項

①平成29年度下半期の実施事業について

②日本財団パラリンピックサポートセンターへの協力について

エ. 審議事項

第1号議案 「平成30年度事業計画」の議決に関する件

第 2 号議案 「平成 3 0 年度収支予算」の議決に関する件

(2) 評 議 員 会

①第 4 7 回評議員会

ア. 日 時 平成 2 9 年 6 月 2 3 日 1 1 時 0 0 分～1 1 時 5 5 分

イ. 場 所 船の科学館 会議室

ウ. 報告事項

①平成 2 8 年度事業報告

②日本財団パラリンピックサポートセンターへの協力について

エ. 審議事項

第 1 号議案 平成 2 8 年度決算の承認に関する件

第 2 号議案 次期評議員の選任に関する件

第 3 号議案 次期役員(理事及び監事)の選任に関する件

4. 平成 2 9 年度における助成金の交付及び精算

(1) 平成 2 9 年度における助成金の交付

この年度においては、日本財団より次のとおり助成金の交付を受けた。

なお、「海の学びミュージアムサポート」事業は平成 3 0 年 7 月 3 1 日までの事業期間である。

(単位：円)

内 訳	当初助成金決定額	返還予定額	返還後助成金額
1 号交付金			
基盤整備	212,640,000	—	212,640,000
博物館の機能整備	28,500,000	1,519,000	26,981,000
海の学びミュージアムサポート	147,320,000	—	147,320,000
合 計	388,460,000	1,519,000	386,941,000

(2) 平成 2 7 年度「海の学びミュージアムサポート」事業に係る助成金の精算

平成 2 7 年度「海の学びミュージアムサポート」事業については、事業完了に伴い助成金額と決算額に差額が生じたため、日本財団に返還した。

(単位：円)

内 訳	当初助成金決定額	返還額	返還後助成金額
1 号交付金			
海の学びミュージアムサポート (事業完了日：平成28年7月31日)	142,770,000	16,372,000	126,398,000

## 5. 平成30年度助成金の交付申請

日本財団に対する平成30年度助成金の交付申請については、次のとおり行った。

(平成29年10月31日)

### 1号交付金

基盤整備	218,860,000 円
博物館の機能整備	28,500,000 円
海の学びミュージアムサポート	145,610,000 円
合 計	392,970,000 円

## 6. 諸願・届出

### (1) 公益社団法人及び公益財団法人認定等に関する法律に基づく届出

内閣総理大臣宛届出

#### ①事業報告等の提出

平成28年度事業報告・決算書 平成29年6月29日

#### ②変更届出書

理事及び監事の変更(就退任) 平成29年7月19日

#### ③事業計画書等の提出

平成30年度事業計画書・収支予算書 平成30年3月20日

### (2) 施設管理に係る諸願・届出

#### ①平成28年度都市計画公園第8・6・15号十三号地公園管理運営規程に基づく報告書

東京都知事宛届出 平成29年7月5日

#### ②排除施設使用廃止届・施設量水器廃止届・減量認定終了届

東京都公営企業管理者下水道局長宛届出 平成29年9月14日

#### ③都市計画公園第8・6・15号十三号地公園内の建物等の撤去について

東京都知事宛届出 平成29年10月5日

#### ④昇降機定期検査報告書(建築基準法第12条第3項)

東京都知事宛届出 平成29年11月22日

#### ⑤都市計画公園第8・6・15号十三号地公園内における暫定施設の設置について

東京都知事宛届出 平成29年12月7日

## 7. 登記

(1) 評議員選任登記(第47回評議員会選任) 平成29年7月3日

(2) 代表理事就任登記(第146回理事会選定) 平成29年7月3日

(3) 役員(理事及び監事)選任登記(第47回評議員会選任) 平成29年7月3日

## 8. 情報開示

財団のホームページに、「定款」、「役員名簿」、「評議員名簿」、「事業及び財務等に関する資料」並びに『「国と特に密接な関係がある」公益法人への該当性について』を掲載した。

## 9. 外部監査

公認会計士篠原通夫氏と平成29年度事業に関する監査契約を締結し、監査を受けた。

## 10. 事務局

平成30年3月31日現在における事務局の機構は別紙3のとおり2部3課制、職員数は8名(ほか契約職員3名)である。

## 11. 施設管理業務

### ①屋内外清掃管理

委託業者：小林産業(株)

期 間：平成29年4月1日～平成30年3月31日

内 容：屋外及び本館3階事務所等の清掃、塵芥廃棄物処理作業

### ②警備

委託業者：(株)K S P・W E S T

期 間：平成29年4月1日～平成30年3月31日

内 容：館内外及び展示物等の警備業務

### ③施設の衛生消毒

委託業者：銀座化成産業(株)

期 間：平成29年4月1日～平成30年3月31日

内 容：本館・宗谷・別館展示場の衛生消毒

## 12. 日本財団パラリンピックサポートセンターへの協力

公益財団法人日本財団パラリンピックサポートセンターより、2020年東京パラリンピックに向けたパラスポーツ専用の練習用体育館建設にあたり、財団敷地の利用について協力要請を受け、協議の結果、敷地の一部を体育館建設用地として無償貸与することで合意し、土地使用貸借契約を締結した。

なお、当該施設は体験教室プール等の施設を撤去（固定資産除却損 46,999,095 円）した跡地で建設工事が行われており、「日本財団パラアリーナ」との名称で平成30年6月の開設を予定している。